

4 交通事業会計

[概要]

平成 29 年度交通事業会計予算は、業務の予定量として、乗合事業は、稼働バス台数 19,890 台、走行キロ数 2,943 千km、輸送人員 2,445 千人、貸切事業は、稼働バス台数 1,773 台、走行キロ数 257 千km、輸送人員 55 千人を見込み、これらに必要な諸経費及び運送収入等を計上しました。

これにより、収益的収支については、自動車事業収益の 1,080,024 千円から消費税及び地方消費税分 38,420 千円を控除し、自動車事業費用の 1,079,749 千円から消費税及び地方消費税分 27,467 千円を控除した結果、当年度純損失は 10,678 千円となり、当年度未処分利益剰余金は 11,733 千円となる見込みです。

また、資本的収支については、収入は、企業債等を計上し、支出は、ノンステップ型路線バス 2 台の更新及びバスロケーションシステム導入等に要する建設改良費と企業債償還金を計上しました。

その結果、資本的収入 39,137 千円に対し、資本的支出は 145,228 千円となり、収支差引 106,091 千円の財源不足となる見込みですが、これは、損益勘定留保資金等で補てんすることとしました。

[収益的収支及び資本的収支]

収益的収支

項 目		予算額(千円)
収 入	乗合収入	536,793
	貸切収入	128,410
	その他収入	414,821
収 入 計		1,080,024
支 出	職員給与費	735,516
	燃料・油脂費	85,961
	車両修繕費	44,061
	減価償却費	80,368
	その他支出	133,843
支 出 計		1,079,749
差 引		275
消費税及び地方消費税		△ 10,953
当年度純利益 (△は当年度純損失)		△ 10,678
未処分利益剰余金 (△は未処理欠損金)		11,733

資本的収支

項 目		予算額(千円)
収 入	企業債	30,000
	固定資産売却代金	1,137
	国・県補助金	6,500
	他会計補助金	1,500
収 入 計		39,137
支 出	建設改良費	90,498
	企業債償還金	54,730
支 出 計		145,228
差 引		△ 106,091

資本的収支差引不足額は、損益勘定留保資金等で補てんします。